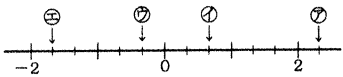


① 次の数直線で、㊶～㊸にあてはまる数を分数で答えなさい。



② 次の□の中に不等号を入れて、大小を表しなさい。

- (1) $0.1 \square 0$ (2) $-0.3 \square -0.5$
(3) $-\frac{1}{2} \square -\frac{1}{3}$ (4) $-\frac{5}{6} \square -0.8$

③ 次のような数を答えなさい。

- (1) 0より7小さい数 (2) 3より7小さい数
(3) -2より5大きい数 (4) -2より3.5小さい数
(5) -2.5より大きく、1より小さい整数をすべて答えなさい。
(6) $\frac{10}{3}$ より小さい自然数をすべて答えなさい。

④ 次の文の()の中に、あてはまることば、数を答えなさい。

- (1) 20人の増加を+20人と表すと、8人の減少は()と表される。
(2) ある地点から東へ50mの地点を+50mと表すと、-20mは()の地点を表す。
(3) -2000円の収入を、負の数を使わないで表すと()となる。
(4) -3より-4大きい数は()である。

⑤ 右の数について答えなさい。

- (1) 一番小さい正の整数を答えなさい。
(2) 絶対値が一番大きい数を答えなさい。
(3) 絶対値が等しい2つの数を答えなさい。
(4) 絶対値が1より大きく、3より小さい数を答えなさい。

① 2点×4 ()	
㊶ $2\frac{1}{3}$	㊸ $\frac{2}{3}$
㊷ $-\frac{1}{3}$	㊹ $-1\frac{2}{3}$

② 2点×4 ()	
(1) >	(2) >
(3) <	(4) <

③ 2点×6 ()	
(1) -7	(2) -4
(3) 3	(4) -5.5
(5) -2, -1, 0	
(6) 1, 2, 3	

④ 2点×4 ()	
(1) -8人	
(2) 西へ20m	
(3) 2000円の支出	
(4) -7	

⑤ 2点×4 ()	
(1) +1	
(2) -6	
(3) $-0.8, +\frac{4}{5}$	
(4) -1.5	

⑥ 次の計算をしなさい。

- (1) $3-7$ (2) $5-(-8)$
(3) $-3-4$ (4) $-5-(-8)$
(5) $2-4.2$ (6) $-2-4.2$

⑦ 次の計算をしなさい。

- (1) $6+(-2)$ (2) $6+(-9)$
(3) $(-9)+(+5)$ (4) $(-4)+(-3)$
(5) $(-7)+(-5)$ (6) $(-8)-(+5)$
(7) $5-(-2)$ (8) $-5-(-2)$
(9) $-12-(-21)$ (10) $-32-(-15)$

⑧ 次の計算をしなさい。

- (1) $(+6)+(-12)+(+4)+(-3)$
 $=10+(-15)$
 $=7+12-13-6$
 $=19-19$
(2) $7-13+12-6$
 $=7+12-13-6$
 $=19-19$
(3) $18-(-12)+(-14)-7$
 $=18+12-14-7$
 $=30-21$
(4) $(-9)+(-6)-(-9)+(-7)$
 $=-9-6+9-7$
 $=-6-7$

⑨ さいころを振って、偶数の目が出れば、その数だけ数直線上を右に進み、奇数の目が出れば、その数だけ左に進むことにする。右の表はA、Bの2人が出した数を、偶数を+で、奇数を-で表しています。Aは2回振ったとき、原点Oから右に4、左に5進んで-1の位置にきました。2人が4回振ったときの位置を求めなさい。



⑩ 下の表は、Aさんの4月から10月までの毎月のテストの得点から、4月の得点をひいた数を表している。これについて、次の問いに答えなさい。

月	4	5	6	7	9	10
4月の得点との差	0	-3	-5	+8	-11	+17

- (1) 6月の得点が60点のとき、8月の得点を求めなさい。
(2) 最高得点と最低得点との差を求めなさい。
 $17-(-11)=28$
(3) 4月の得点が65点のとき、6回の合計得点は、 65×6 (点)より何点多くなるか。
 $65\times 6+(-3)+(-5)+8+(-11)+17=$

⑥ 1点×6 ()	
(1) -4	(2) -3
(3) -7	(4) -13
(5) -2.2	(6) -6.2

⑦ 3点×10 ()	
(1) 4	(2) -3
(3) -4	(4) -7
(5) -12	(6) -13
(7) 7	(8) -3
(9) 9	(10) -17

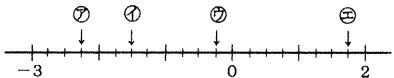
⑧ 2点×4 ()	
(1) -5	
(2) 0	
(3) 9	
(4) -13	

	1回目	2回目	3回目	4回目	位置
A	+4	-5	+2	-3	
B	-3	-3	+4	+6	

⑨ 5点 ()	
-2	+4

⑩ 3点×3 ()	
(1) 54点	
(2) 28点	
(3) 396点	

① 次の数直線で、㊶～㊸にあてはまる数を答えなさい。



② 次の数を小さい順に並べなさい。

- (1) $-\frac{1}{4}, -\frac{1}{3}, -0.3$
(2) $-0.01, -0.1, -\frac{1}{20}, 0$

③ 右の数について答えなさい。

- (1) 一番小さい整数を答えなさい。
(2) 小さい方から3番目の数を答えなさい。
(3) 絶対値が一番小さい数を答えなさい。
(4) 絶対値が4より大きい数を答えなさい。

④ 次の問いに答えなさい。

- (1) $-\frac{10}{3}$ と1.5の間にある整数は全部でいくつあるか。
(2) -4.3より小さい整数のうち、最も大きい整数を答えなさい。
(3) 数直線上で+2からの距離が5である数を答えなさい。
(4) 2数A、Bの絶対値は同じで、AはBより7大きい。このとき、Bはいくらか。

⑤ 次の計算の答がいつでも負の数になるものはどれか。番号で答えなさい。

- ① (負の数)+(負の数) ② (正の数)+(負の数)
③ (正の数)-(正の数) ④ (負の数)-(正の数)
⑤ (負の数)-(負の数) ⑥ $0-(負の数)$
⑦ $(-3)+(-2)=-5$ ⑧ $5+(-2)=3$
⑨ $(-2)-3=-5$ ⑩ $0-(-5)=5$

① 2点×4 ()	
㊶ $-2\frac{1}{4}$	㊸ $-1\frac{1}{2}$
㊷ $-\frac{1}{4}$	㊹ $1\frac{3}{4}$

② 3点×2 ()	
(1) $-\frac{1}{3}, -0.3, -\frac{1}{4}$	
(2) $-0.1, -\frac{1}{20}, -0.01, 0$	

③ 3点×4 ()	
(1) -3	
(2) -0.2	
(3) $+\frac{1}{10}$	
(4) -4.2, +5	

④ 3点×4 ()	
(1) 5つ	
(2) -5	
(3) 7, -3	
(4) -3.5	

⑤ 4点 ()	
①, ④	

⑥ 次の()にあてはまることばを答えなさい。

- (1) 同符号の2数の和は、2数の()の和に2数と()符号をつける。
(2) 異符号の2数の和は、2数の()の差に、絶対値の()方の符号をつける。
(3) $(\bigcirc+\square)+\triangle=\bigcirc+(\square+\triangle)$ が成り立つ性質を、加法の()法則という。

⑦ 次の計算をしなさい。

- (1) $(+5)-(+13)$ (2) $(-4)-(+7)$
(3) $(-8)+(-3)$ (4) $0-(-31)$
(5) $(-5)-(-9)$ (6) $(-21)-(-7)$
(7) $(-2)+(+3.2)$ (8) $(-3.6)-(-1.8)$
(9) $(-2)+(-\frac{1}{3})$ (10) $1+(-\frac{7}{4})$
(11) $(-\frac{1}{3})-(-\frac{1}{6})$ (12) $(-\frac{7}{4})-(-\frac{7}{6})$

⑧ 次の計算をしなさい。

- (1) $-16+13-21+27-4$
 $=40-41$
(2) $(-1)-(+2)+(-3)-(-3)+(+2)+1$
 $=-1-2-3+3+2+1$
(3) $0.8+(-1.5)-(-2)-(+2.1)+(-0.4)$
 $=0.8-1.5+2-2.1-0.4$
(4) $8-\{(-6)-(-5)\}-13-(-4)$
 $=8-(-6+5)-13+4$

⑨ 下の表は、8人の生徒A～Hの数学のテストの点数を、35点を基準にして、基準点との違いを基準点より高い場合は正の数、低い場合は負の数で表している。次の問いに答えなさい。

月	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
35点との差(点)	+15	-6	-11	0	+10	-3	+13	-2	

- (1) 最高得点と最低得点との差を求めなさい。
(2) 35点との差の合計を求めなさい。
(3) 8人の点数の平均点は、《基準点 + (2)で求めた数の平均》で求めることができる。この方法で8人の点数の平均点を求めなさい。

⑥ 3点×3 ()	
(1) 絶対値	共通の
(2) 絶対値	大きい
(3)	結合

⑦ 2点×12 ()	
(1) -8	(2) -11
(3) -11	(4) 31
(5) 4	(6) -14
(7) 1.2	(8) -1.8
(9) $-\frac{7}{3}$	(10) $-\frac{3}{4}$
(11) $-\frac{1}{2}$	(12) $-\frac{7}{12}$

⑧ 4点×4 ()	
(1) -1	(2) 0
(3) -1.2	(4) 0

⑨ 3点×3 ()	
(1) 26点	
(2) +16	
(3) 37点	

1 次の計算をしないさい。

- (1) $(-0.4) \times 5$ (2) $(-2) \times 3 \times (-0.1)$
- (3) (-10^2) (4) $\left(-\frac{1}{3}\right)^4$
- (5) $-(-1)^8$ (6) $(-3) \div 0.6 \times (-0.5)$
 $= \frac{3 \times 10 \times 5}{6 \times 10}$
- (7) $\frac{24}{5} \div (-8) \div 0.6$ (8) $(-15) \div \frac{9}{4} \times (-1.2)$
 $= -\frac{24}{5} \times \frac{10}{8} \times \frac{1}{6}$ $= \frac{15 \times 4 \times 12}{9 \times 10}$
- (9) $(-5)^2 \times 4 \div (-10^2)$ (10) $\frac{8}{9} \div (-2)^3 \times (-3)^2$
 $= -\frac{25 \times 4}{100}$ $= -\frac{8 \times 9}{9 \times 8}$
- (11) $(-2)^3 \div 5 \times (-15) \div (-4)$ (12) $\left(\frac{1}{4}\right)^2 \div (-0.5)^2 \times (-1.6)$
 $= -\frac{8 \times 15}{5} \times 4$ $= -\frac{1 \times 2 \times 2 \times 16}{16 \times 1 \times 1 \times 10}$

2 次の問いに答えなさい。

- (1) -0.25 の逆数を求めなさい。 $-0.25 = -\frac{1}{4}$
- (2) -1.3 , $-\frac{11}{8}$, $-\frac{6}{5}$ の大小を、不等号を使って表しなさい。
 $-1.37 \dots < -1.2$
- (3) 絶対値が9.1より大きい負の数の中で、最も大きい整数を答えなさい。

3 次の文の()にあてはまることばを答えなさい。

- (1) かけ算のことを乗法、わり算のことを(①)といい、加法、減法、乗法、(①)をまとめて(②)という。
- (2) $(\bigcirc + \square) \times \triangle = \bigcirc \times \triangle + \square \times \triangle$ が成り立つ性質を、(③)法則という。
- (3) 負の数-正の数は(④)、正の数-負の数は(⑤)になる。

4 下の表は、A～Eの5地点のある日の最高気温を調べた結果を、C地点の最高気温を基準にして表したものです。E地点のこの日の最高気温が21.0℃のとき、次の問いに答えなさい。

月	A	B	C	D	E
C地点との差	-2.1	-0.4	0	+1.6	+2.4

- (1) 5地点のこの日の最高気温の平均は、C地点の最高気温より何度高いか求めなさい。
 $(-2.1 - 0.4 + 1.6 + 2.4) \div 5 = +0.3$
- (2) 5地点のこの日の最高気温の平均を求めなさい。
C地点は、 $21.0 - 2.4 = 18.6$ $18.6 + 0.3 = 18.9$

1 2点×12 ()	
(1) -2	(2) 0.6
(3) -100	(4) $\frac{1}{81}$
(5) -1	(6) $\frac{5}{2}$
(7) -1	(8) 8
(9) -1	(10) -1
(11) -6	(12) $-\frac{2}{5}$

2 2点×3 ()	
(1) -4	
(2) $-\frac{11}{8} < -1.3 < -\frac{6}{5}$	
(3) -10	

3 2点×5 ()	
(1) ① 除法 ② 四則	
(2) ③ 分配	
(3) ④ 負の数 ⑤ 正の数	

4 4点×2 ()	
(1) 0.3度	
(2) 18.9度	

5 次の問いに答えなさい。

- (1) 1, 2, 3, 4の4個の数をこの順に使い、+, -, ×, ÷, ()の必要な記号を使って、計算の結果が1になる式を(例)以外に2つ作りなさい。
(例) $(-1) + 2 \times 3 - 4$
 $(-1 + 2 + 3) \div 4$ など
- (2) ①～③のそれぞれの□にあてはまる式を、次のア～エの中から全て選び、記号で答えなさい。
ア. $a + b$ イ. $a - b$ ウ. $a \times b$ エ. $a \div b$
① a, b が自然数のとき、□はいつも自然数である。
② a, b が負の整数のとき、□はいつも自然数である。
③ a, b がどんな奇数でも、□はいつも奇数となる。

6 次の計算をしないさい。

- (1) $9 - 3 \times 4 + 10$ (2) $-12 - 20 \div (-4)$
 $= 9 - 12 + 10$ $= -12 + 5$
- (3) $35 \div (-7) - 3 \times (-4)$ (4) $-15 - 12 \div 6 \times (-4)$
 $= -5 + 12$ $= -15 + 8$
- (5) $(-2)^4 + (-1^4) \times 9$ (6) $(-4)^2 \div (-8) - 5^2 \div 5^2$
 $= 16 - 9$ $= -2 - 5$
- (7) $11 + (5 - 21) \div (-2)^2$ (8) $\{-8 - (-21) \div 3\} \div 7$
 $= 11 + (-16) \div 4$ $= (-8 + 7) \div 7$
 $= 11 - 4$
- (9) $-9 - \{7 - (6 - 8) \times (-2)^3\}$ (10) $\frac{1}{3} - \frac{3}{8} \div \left(-\frac{3}{2}\right) - \left(+\frac{1}{6}\right)$
 $= -9 - \{7 - (-2) \times (-8)\}$ $= \frac{1}{3} - \frac{3 \times 4}{8 \times 9} - \frac{1}{6}$
 $= -9 - \{7 - 16\}$ $= \frac{1}{3} - \frac{1}{6} - \frac{1}{6}$
 $= -9 - (-9) = 0$

7 次の問いに答えなさい。

- (1) 2数(36, 90)の公約数をすべて求めなさい。
最大公約数は18
- (2) 1から100までの整数の中に、6または8の倍数はいくつあるか求めなさい。6の倍数 $100 \div 6 = 16$ 24の倍数 $100 \div 24 = 4$
8の倍数 $100 \div 8 = 12$ $16 + 12 - 4$
- (3) 360を素因数分解し、指数を使って表しなさい。
- (4) $\frac{360}{n}$ がある整数の2乗になるときの、 n にあてはまる最も小さい自然数を求めなさい。 $\frac{2^3 \times 3^2 \times 5}{2 \times 5} = 2^2 \times 3^2$ $n = 2 \times 5$

5 2点×5 ()	
(1)	$1 \times 2 + 3 - 4$
	$(1 - 2) \div (3 - 4)$
①	ア, ウ
②	ウ
③	ウ

6 3点×10 ()			
(1)	7	(2)	-7
(3)	7	(4)	-7
(5)	7	(6)	-7
(7)	7	(8)	$-\frac{1}{7}$
(9)	0	(10)	0

7 3点×4 ()	
(1)	1, 2, 3, 6, 9, 18
(2)	24個
(3)	$2^3 \times 3^2 \times 5$
(4)	10

1 次の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

- (1) -0.01 , -0.1 (2) $-\frac{1}{3}$, $-\frac{1}{4}$
- (3) -1.2 , $-\frac{11}{9}$, $-\frac{11}{10}$

2 次の数を答えなさい。

- (1) 0より-3小さい数 (2) 3より-5大きい数
- (3) 数直線上で、-6と+10のまん中にある数
- (4) -2.8より大きい整数の中で、最も小さい数
- (5) 絶対値が1以上2以下の整数

3 次の計算をしないさい。

- (1) $(-5) + (+9)$ (2) $(-5) + (-9)$
- (3) $7 - (+15)$ (4) $(-12) - (-7)$
- (5) $(-3.2) - (+1.9)$ (6) $-3 - \left(-\frac{5}{4}\right)$
- (7) $2 - 3.7 - 4.3$ (8) $-\frac{3}{5} + \frac{3}{4} - \frac{2}{5}$
- (9) $8 + (-15) - (-3) - 4 - (+6)$
- (10) $-\frac{1}{2} - \left(-\frac{3}{4}\right) - \left(\frac{2}{3} + \frac{1}{12}\right) - \frac{1}{2}$

4 下の表は、田中くんの4月から10月までの毎月のテストの成績を4月の得点を基準とし、それよりも高いものを正の数、低いものを負の数で表したものである。これについて、次の問いに答えなさい。

月	4	5	6	7	9	10
成績	0	+6	-11	-4	-7	+10

- (1) 最高得点と最低得点との差を求めなさい。
 $10 - (-11) = 21$
- (2) 平均点が72点のとき、4月の得点を求めなさい。
4月の得点 $+ \frac{0 + 6 - 11 - 4 - 7 + 10}{6} = 72$

4 3点×2 ()	
(1)	21点
(2)	73点

5 次の計算をしないさい。

- (1) $\left(-\frac{1}{2}\right) \times 0 + \frac{1}{3}$ (2) $\frac{3}{8} \div \left(-\frac{9}{4}\right) + \frac{5}{6}$
- (3) $1 \div 2 \div (-3)$ (4) $10 \div (-3) \times (-6)$
- (5) $(-2)^2 \times (-2^2)$ (6) $(-9)^4 \div (-9)^3$
- (7) $(-4^2) \div (-8)^2 \times (-6)^3$ (8) $12 \div \left(-\frac{3}{2}\right) \times 5 \frac{1}{4} \div (-3)^2$
 $= \frac{4 \times 4 \times 6 \times 6 \times 6}{8 \times 8}$ $= -\frac{12 \times 2 \times 21}{3 \times 4 \times 9}$

6 次の計算をしないさい。

- (1) $(-2)^3 - \left(-\frac{3}{2}\right) \div \left(-\frac{3}{4}\right)$
- (2) $5 \times (-6) - 30 \div (-5) \times 3 = -30 - (-18)$
- (3) $\{(-16) - (-12) + (-36)\} \div (-5) = (-40) \div (-5)$
- (4) $-4 - \{-14 - (9 - 12) \times 7\} = -4 - \{-14 + 21\}$
 $= -4 - 7$
- (5) $6 - \{9 - (-3)^2 \times 2\} \div 3 = 6 - \{9 - 18\} \div 3$
 $= 6 - (-3)$
- (6) $7^2 \times 3.14 - 6^2 \times 3.14 - 4^2 \times 3.14 = (49 - 36 - 16) \times 3.14$
 $= (-3) \times 3.14$

7 次の問いに答えなさい。

- (1) $a > 0$, $b < 0$ のとき、次の計算結果は正の数になるか負の数になるか。
① $a - b$ ② $b + a \times b$
- (2) $a < b < 0$ のとき、次の計算結果が最も小さい数になるものを選びなさい。
㉞ $a + b$ ㉟ $a - b$ ㊱ $a^2 - b^2$
- (3) 数字を書いた4枚のカード $\boxed{2}, \boxed{3}, \boxed{4}, \boxed{5}$ がある。
この4枚のカードから3枚選び、下の図の $\boxed{C}, \boxed{D}, \boxed{E}$ の位置に1枚ずつ置き、㉚, ㉛の中に+, -, ×, ÷の記号を入れて計算を行う。計算の結果がもっとも小さくなるときの、その計算の結果を求めなさい。
 $\boxed{C} \ \textcircled{a} \ \boxed{D} \ \textcircled{b} \ \boxed{E}$
 $2 - 4 \times 5$

5 2点×8 ()			
(1)	0	(2)	$-\frac{1}{5}$
(3)	$-\frac{1}{6}$	(4)	20
(5)	-16	(6)	-9
(7)	54	(8)	$-\frac{14}{3}$

6 3点×6 ()	
(1)	-10
(2)	-12
(3)	8
(4)	-11
(5)	9
(6)	-9.42

7 4点×4 ()	
(1)	① 正の数
	② 負の数
(2)	㊱
(3)	-18